

平成22年度における契約状況のフォローアップ

平成23年9月
独立行政法人 酒類総合研究所

1. 平成20年度と平成22年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

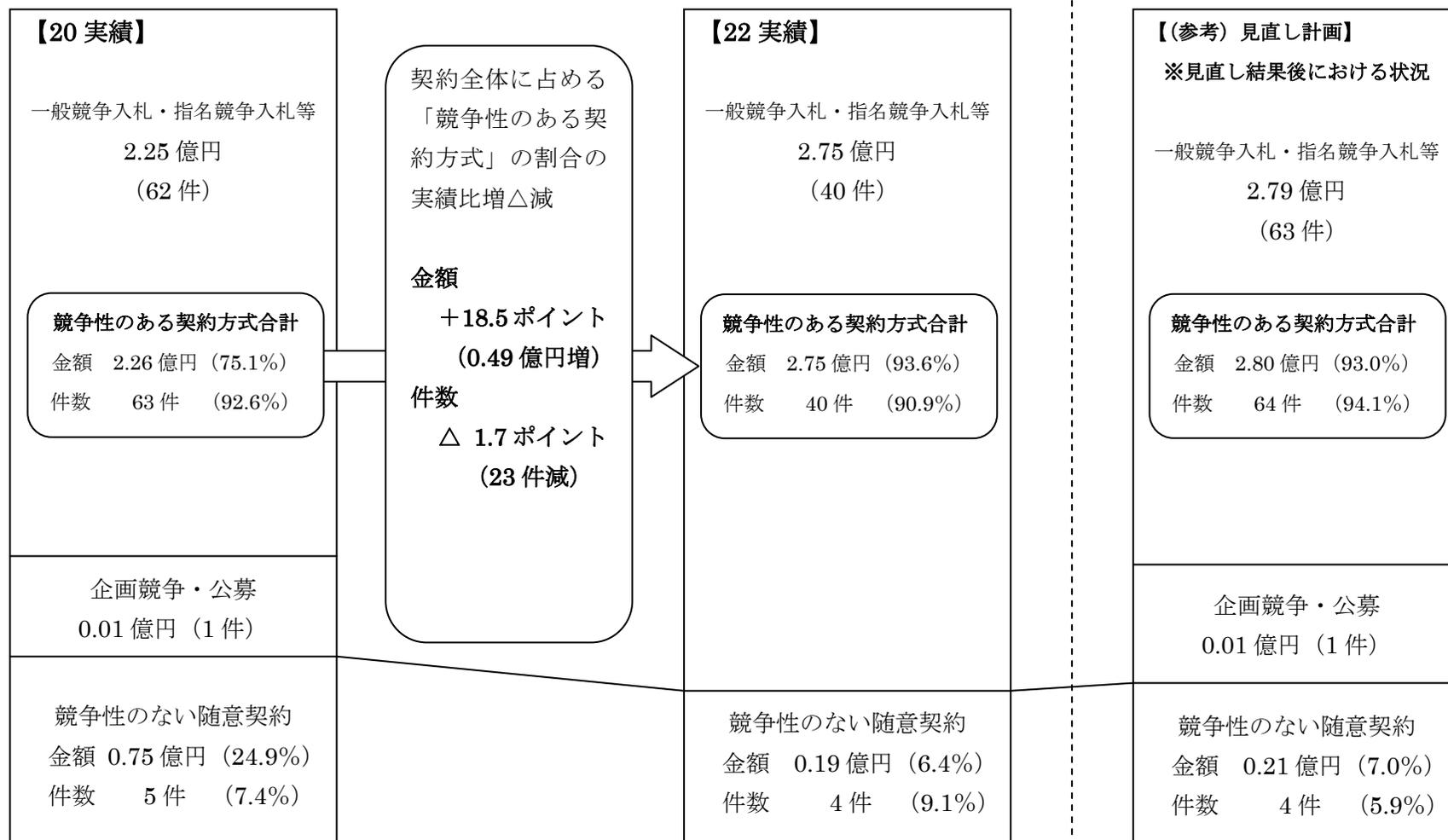
	平成20年度		平成22年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(91.2%) 62	(74.8%) 2.25	(90.9%) 40	(93.6%) 2.75	(△35.5%) △22	(22.3%) 0.50	(92.6%) 63	(92.6%) 2.79
企画競争・公募	(1.4%) 1	(0.3%) 0.01	(－%) －	(－%) －	(皆減) △1	(皆減) △0.01	(1.5%) 1	(0.4%) 0.01
競争性のある契約 (小計)	(92.6%) 63	(75.1%) 2.26	(90.9%) 40	(93.6%) 2.75	(△36.5%) △23	(21.7%) 0.49	(94.1%) 64	(93.0%) 2.80
競争性のない 随意契約	(7.4%) 5	(24.9%) 0.75	(9.1%) 4	(6.4%) 0.19	(△20.0%) △1	(△74.9%) △0.56	(5.9%) 4	(7.0%) 0.21
合 計	(100%) 68	(100%) 3.01	(100%) 44	(100%) 2.94	(△35.3%) △24	(△2.3%) △0.07	(100%) 68	(100%) 3.01

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の()書きは、平成22年度の対20年度伸率である。

(注3) 見直し計画の計数等は、「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて(平成21年11月17日閣議決定)」に基づき公表した見直し計画である。

(参考) 図表 平成 20 年度と平成 22 年度に締結した契約の状況



(注) 「一般競争入札・指名競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

2. 見直し計画に掲げた競争性のない随意契約の割合に到達しなかった主な理由

競争性のない随意契約の平成 22 年度の実績件数は 4 件（計画件数 4 件）であり、「随意契約見直し計画」（以下「見直し計画」という。）を達成した。他方、その割合は、実績値 9.1%（計画値 5.9%）であり、見直し計画を達成できなかった。

この理由としては、①予算の効率的な運用のため、契約全体の見直しを図ったこと、②平成 22 年度は、第 2 期中期目標期間の最終年度であることから、研究業務等の入札案件が例年より減少しており、これを反映して、全体の契約件数が 44 件に減少（計画値：68 件）した結果、相対的に割合が増加したことによるものである。

なお、随意契約の金額については、見直し計画を達成している（計画：金額 0.21 億円、構成比 7.0%、平成 22 年度：金額 0.19 億円、構成比 6.4%）。

3. 平成 22 年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

① 一般競争入札へ移行

電気供給業務契約（広島事務所） 0.52 億円

② 指名競争入札へ移行

該当なし

③ 企画競争へ移行

該当なし

④ 公募へ移行

該当なし

4. 一者応札・応募の改善状況

(単位：件、億円)

		平成 20 年度	平成 22 年度	比較増△減
2 者以上	件数	29 (46.0%)	24 (60.0%)	△5 (△17.2%)
	金額	1.20 (53.3%)	1.30 (47.4%)	0.10 (8.2%)
1 者以下	件数	34 (54.0%)	16 (40.0%)	△18 (△52.9%)
	金額	1.06 (46.7%)	1.45 (52.6%)	0.39 (37.0%)
合 計	件数	63 (100%)	40 (100%)	△23 (△36.5%)
	金額	2.26 (100%)	2.75 (100%)	0.49 (21.7%)

(注 1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注 2) 合計欄は、競争契約（一般競争、指名競争、企画競争、公募）を行った係数である

(注 3) 比較増△減の（ ）書きは、平成 22 年度の対 20 年度伸率である。

5. 一者応札、一者応募に係る改善方策 (URL http://www.nrrib.go.jp/gui/bid/pdf/bid_04.pdf)